

6 今後の予定

6.1 整備予定内容

整備予定 ⑧ 上成箇所
(魚道改良) 都市近郊ブロック

- ・ 事業費 : 100百万円
- ・ 整備内容 : 魚道改良
- ・ 魚道の改良により水生生物の遡上が適切に行えるよう整備する。

< 魚類の遡上が出来ない原因 >

- ① 遡上魚に魚道の入り口がわからない
- ② 魚道構造が適切でない

過去に実施した遡上調査では、満潮時には、アユの遡上が見られるものの、干潮時には、魚道の遡上が少ない状況となっている。

魚道の勾配がきつく幅も狭いことから、魚類の遡上が困難な状況となっている。



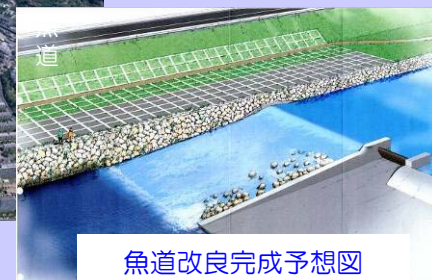
アユ



位置図



魚道現況



魚道改良完成予想図

整備予定 ⑨ 酒津箇所

都市近郊ブロック

(親水護岸)

- ・ 事業費 : 200百万円
- ・ 整備内容 : 親水護岸、高水敷整正等
- ・ 酒津公園や対岸の八幡山などの拠点を結ぶ遊歩道等を整備する。
- ・ 観光名所である「酒津公園や、近代土木遺産の「東西用水酒津樋門」および「水江の渡し」と一体に、水辺空間を利用した整備を行う。



位置図



酒津公園と河川の利用が連続していない。

整備イメージ図



倉敷市では、これまでに高梁川の河川敷等の利用について「八幡山公園基本構想」「高梁川地域景観整備構想」を策定しているが、市町村合併に伴って、地域連携の要とした高梁川の利用計画が検討されている。酒津箇所は旧船穂町と倉敷市を結ぶ地域として整備要望があり、地域と連携した整備を行う。



酒津公園



水江の渡し

7. コスト削減の取り組み

- 整備箇所においては、地元との合意を得て、除草作業を含め清掃などの日常管理を施設管理者が実施することで、維持管理費用を削減している。
- 河川内で伐採した時に発生する小枝・竹等をチップ化して、一般の人に提供している。これにより、伐採木(1000m³)の運搬処分費が250万円から100万円に縮減できる(削減額：150万円)。



地域住民による清掃活動



伐採の状況



チップ化の作業状況

整備箇所と管理者の一覧

古地箇所	きよね水辺の楽校 (総社市)
総社箇所	そうじゃ水辺の楽校 (総社市)
川辺箇所	まび水辺の楽校 (倉敷市)
赤鳥居箇所	まきびさくら公園 (倉敷市)
船穂箇所	高梁川河川敷公園 (倉敷市)



産廃処分 2,500円/m³



削減率 60%

チップ配布 1,000円/m³

8. 今後の対応方針（原案）

（1）事業の必要性に関する視点

- ・水辺の環境が整備された箇所では、新たな利用の創出や地域イベントの活発な利用など、地域の活性化に繋がった。
- ・水辺の楽校は地域の社会教育施設として、環境学習や自然体験の場として定着している。
- ・淡水魚の宝庫である高梁川の魚類生息環境を保全するための移動性の確保を行う。

（2）事業の進捗見込みの視点

地域の河川利用に関する要望は強く、地域計画や地域からの意見を取り入れながら、協力体制を確立し、事業を実施していく。

（3）対応方針（原案）

- ・以上の観点から高梁川の環境整備事業は、**継続が妥当**。
- ・今後、更なるコスト縮減に努力しつつ、地域との連携を深め、効率的で効果的な事業を継続する。